

県央



本社編集局 048・795・9161

購読

見沼田んぼ福祉農園が10周年

さいたま市緑区南部領
 社の「見沼田んぼ福祉農
 園」(管理運営「見沼福
 祉農園推進協議会、猪瀬
 良一代表)で五日、開園
 十年の集いが開かれ、約
 三十人の関係者や県、市
 の職員らが農作業や食事
 を楽しんだ。

「感慨深い」猪瀬代表

同福祉協議会は福祉団
 体、ボランティア、地域

団体の七団体で構成。県
 が見沼田圃公有地化事業
 の一環として用地を取得
 ・借の受け管理運営を同
 協議会に委託しており、
 見沼たんぼの保全と、障
 害者や高齢者が農作業を
 通して地域社会に参加し
 交流する場としての活用
 を目指している。

猪瀬代表は集いで、こ
 はかに、木の枝を細か
 く碎きチップにする粉碎
 機(県内の企業の基金か
 ら助成を受け購入)をお
 披露目したり、耕運機の
 開発者ら企業関係者らが
 機械の点検と使い方の講
 習会を行った。



見沼田んぼ福祉農園開園10年の集いに参加した関係者

参加者は取れたての野
 菜や持ち寄った肉を焼い
 たり、かまどで炊いたご
 飯やイノシシ汁を味わつ
 て歓談。井戸の水を揚げ
 るポンプを動かすため電
 気を引いてほしいと求め
 たことや、近くの芝川の
 支流で一九六〇年ごろウ
 ナギがたくさん採れたこ
 となどを話していた。

同福祉農園は二〇〇七
 年度の「立ち上がる農山
 漁村」に、国の有識者会
 議から選定された。

(築井有)